

久喜菖蒲ロータリークラブ週報



2016年 3月24日(木)
2077回例会 No.35

活気あふれる
ロータリーを通して
「人づくり
そして奉仕」



国際ロータリー第2770地区
ガバナー 井原 實
ロータリーは奉仕を通じて、
人づくり、自分作り

例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
例会場：三高サロン 久喜市久喜中央 4-9-83
事務局：久喜市久喜中央 1-5-32 ツジヤビル 3F
会長 松崎 宏 幹事 進藤和夫
会報委員 多田和男・高木学・田村盛良
松永元彦・大島修一



点鐘 ソング 我らの生業

“Be a gift to the world”
K.R. “ラビ” ラビンドラン RI 会長

東日本大震災南相馬市復興支援
コンサート 久喜総合文化会館
4月3日(日) 18:00 開場

【会長挨拶】 松崎 宏会長



皆さんこんにちは 先日16、17日はクラブの親睦旅行でした。久喜菖蒲ロータリークラブとしては初めての米山梅吉記念館を見学させていただきました。その後は、稲取温泉の銀水荘の素晴らしい温泉とおいしい料理をいただきながらの宴会、皆さん盛り上がりカラオケのレベルも高かったように思いました。翌日の昼食をいただいた福風さんの蕎麦も最高に美味しく、事故や怪我もなく無事に帰路に着き楽しい親睦旅行となりました。

【誕生祝】 お誕生日の皆様おめでとうございます。

- 3月4日 福田喜美夫会員
- 3月25日 山中和子会員



【委員会報告】 社会奉仕委員会 中山登司男副委員長

* 東日本大震災南相馬市復興支援コンサート開催について



東日本大震災復興支援チャリティコンサート
4月3日(日) 久喜総合文化会館 開場 18:00 開演 18:30

2011年3月11日の東日本大震災発生後、多くの皆様のご協力を得まして、復興支援活動を行ってきております。本年度も同様、コンサートを開催致しますので、主旨をご理解の上、是非おひとりでも多くの皆様に会場にお越しいただきますよう、ご尽力ください。よろしくお申し込み申し上げます。

当日のご来賓は、
RI 第2530地区ガバナー 酒井善盛様 (南相馬RC)
久喜市長 田中暄二様 です。

久喜菖蒲ロータリークラブ主催 東日本大震災南相馬復興支援チャリティコンサート

Frühlingsglaube VI

～ 春への想い VI ～

メソプラノ 武井 優希
ピアノ 権野(松井) 朋子

2016.4/3 18:00 開場
18:30 開演
久喜総合文化会館小ホール
チケット：[全席自由] ¥2,000(税込)

Repertoire

ヴェルディ オペラ ドン・カルロより「ヴェールの歌」
マスネ オペラ ツルビネより「さあ 涙を流させて」
ショスタコフ オペラ ぼらの騎士より「あなたは何とすばらしいことでしょう」
サンサーンス オペラ サムソンとデリラより「愛の神よ！私を助けに来ておくれ」
ほか

主催 久喜菖蒲ロータリークラブ
お問い合わせ先 ウィーンの風事務局
TEL 0480-21-7291 (Mail wienwind@gmail.com)

久喜総合文化会館
TEL 0480-21-1190
〒340-0022 埼玉県久喜市下野原1-4-10
● 本会事務局は、本会事務局の専用ダイヤルにて受付いたします。

〔卓話〕 野原 宏会員 （NPO法人あーと・わの会理事長）

「私の趣味」

久喜菖蒲ロータリークラブの皆様私のコレクションの一端をご覧いただきたく平塚市美術館で開催されました、展覧会のご案内を申し上げましたところ、多くの会員の方々に見ていただき、大変光栄に思っています。ご多用中の中、遠路、湘南平塚の地までご足労をいただきましたこと衷心より厚く御礼申し上げます。

このたび、例会の卓話で私の大好きな絵の話をさせていただくことが出来嬉しく思っています。ありがとうございました。

前にこの度の展覧会のいきさつや私の絵に対する思いを記したものがありませんでしたので、卓話の内容と違う内容になっておりますがご一読いただければ幸いです。

「蒐集も亦 芸術である」東御市立梅野記念絵画館初代館長であり、コレクターの大先輩で私の敬愛する、梅野隆氏の言葉です。

私たち、絵の魅力にとりつかれたもの目指すところでもあります。

足と目で長い年月をかけて、苦労しながら、ときには大きな喜びと、満足感を味わいながら蒐集した、自分の大好きな、思いのこもった絵を、多くの人に見てもらいたい。

コレクターなら誰でも一度はそんな思いに駆られたことがあると思います。しかしその実現はなかなか困難です。

コレクターが作るわたくし美術館・NPO法人あーと・わの会も創立以来展覧会を開催するたびに図録を作り、会報も毎回継続して発行してまいりました、それらを通覧してみますと、会員のコレクションの質の高さとその思いは何物にも代えがたいものがあることに気がつきました。

一冊の本にまとめてみたら、今までにない、楽



しく肩の張らない絵好きの、目線で集めた、色々な絵の素晴らしい本が、出来ると確信しました。

そして多くの人に蒐集した絵を見てもらいたいという私たちの夢もかなえることができるのではと考えました。その本「わの会の目」の掲載作品が一堂に展示されました。

こんな画家のこんな作品があったのか。こんな作品を手元において楽しんでいた人がいたのか。この展覧会が縁となり人と絵の輪が大きく広がり、美術愛好家が一人でも増えて、多くの埋もれた作家の作品に光があたることになれば素晴らしいことだと思います。

「高名高額の画家の絵ばかりが、良い絵で、美しいわけではありません」

この度、多くの方々のお力添えをいただき、私たちコレクター憧れの、平塚市立美術館・東御市立梅野記念絵画館、公立美術館二館で展示していただくことができました。夢のようなことです、コレクターの団体としては初めてことです。

NPO法人としての事業が認められてのことだと思います、これを機に皆様のご理解をいただきながらさらに努力してまいりたいと思います。

あなたの好きな一枚の絵をさがしてください。きっと見つかります、そして楽しいひと時をお過ごしください。心をリフレッシュするために、好きな自分だけの絵を見つけてみてください。



コレクション拝見

Vol. 34

野原宏さんの「人との出逢いを呼ぶコレクション」

「蒐集した絵を通じて何かを表現したい。今回取材した野原宏さんに「コレクションするのなぜか」をお聞きすると、こんな答えが返ってきた。

コレクター人生の中で大きな転機となったのが、25年前の大川美術館を創立した大コレクター大川栄二さんとの出逢い。その後、何度も美術館に足を運び、分らないことはその場で聞いて交流を重ねた。そこでもう一人の大コレクター梅野隆さんが美術館を創ることを聞き、開館したての梅野記念絵画館を訪ねた。梅野さんには「コレクションの真髄を教えてもらった」という。この「二人の先生」からコレクターとしての心得を学び、さらに梅野さんの元でコレクターの堀良慶さんと出逢ったことからコレクター団体（わの会）が生まれた。現在、野原さんがNPO法人となった（あーと・わの会）の理事



藤本 隆男「朱の中の朱（イビラプエラ）」1954年 油彩、キャンバス 45.8×53.0cm



藤本 隆男「威風（於パリ）」1934年 油彩、キャンバス 60.6×50.0cm



菅野圭介「静物（飛脚の躰）」1958年頃 油彩、キャンバス 90.2×72.7cm



坂九「旅人」1957年 リトグラフ、紙 37.9×52.4cm



坂九「黄色い人」1956年 油彩、キャンバス 21.3×26.4cm

長を、堀さんが事務局長を務めている。「コレクターっていうのは誰かと巡り逢わないと途中で挫折してしまう。それは迷いがあるから。ある程度作品数が集まってくると絵が人を呼ぶ。コレクションしてみても分かったのが、一枚の絵が人との出逢いや物語を運ぶということ」

コレクションで最も点数が多い作家は荒井龍男。戦後にNYやブラジルで個展を開くなど国際的に活躍。ポロックやレジェらと交流をしながら、1955年に志半ばで亡くなってしまった画家だ。野原さんは1992年の大規模回顧展後に遺族に返却された作品をまとめて購入。今年是全国6美術館を巡回中の「日韓近代美術家のまなざし」展にも荒井作品を貸し出している。「コレクター冥利に尽きる」とその展覧会に足を運んで学芸員とも交流を深

め、いい絵はいい出逢いを呼ぶことを改めて実感しているという。「地球を何回も回った国際派の荒井龍男は、同時代の日本人画家に大きな影響を与えたんだ」と愛おしそうに話す野原さんの姿にエネルギーが重なるように見えた。



阿以田治彦「花を探る少女」とともに

〔幹事報告〕 進藤和夫 幹事



*大宮RC創立60周年記念式典のご案内：

5月21日(土) パレスホテル大宮式典午後6時

*次回例会31日(木)：そば例会 12：00 緑風館 久喜市六万部

*4月例会案内：別紙

◎3日(日) 東日本大震災南相馬復興支援コンサート

久喜総合文化会館 17：30 小ホールロビー集合 18：00 会場 18：30 開演

〔スマイル報告〕 金田仁志 SAA 委員長



☆誕生祝ありがとうございます。73歳になりました：福田喜美夫

☆野原さん卓話をよろしく：松崎宏・尾崎敏彦

☆卓話をお聞きいただき有難うございました：野原宏

☆本日もよろしく：伴光治 ☆いつもお世話になります：富田英則

☆明日からインターアクトで韓国に50人の生徒を連れて1週間行って来ます：野口はやみ

☆欠席のお詫び：斎藤文平（敬称略・順不同）



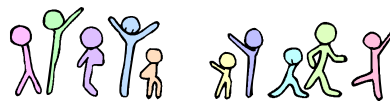
本日の合計	¥22,000
累計	¥1,193,500

〔出席報告〕 出席委員会 新井 博委員長



点鐘

	定員	免除	出席	M U	欠席	出席率
本日出欠	50	10	24	6	10	75.00%



江戸小話 亀は万年

「ねえ、ご隠居さん、昔から鶴は千年、亀は万年なんて事を言いますね。」

「ああ、そんな事を言うな。」

「鶴は千年生きますかね？」

「生きるそうだな。」

「亀は万年も生きますかね？」

「生きるそうだ。」

「亀が万年生きたのを見た事ありますか？」

「見た事は無いが生きるそうだな。」

「この間、隣の子供が縁日で亀を買って来まして、その晩に死んじゃいましたよ。」

「じゃあ、それが万年目だったんだな。」

ちゃんちゃん



次回例会 3月31日（木） そば例会

会場 緑風館

12:00～13:30

点鐘 12:30

皆さんの出席をお願いいたします。 SAA・出席委員会